

令和5年度 会長挨拶

保護者の皆様には日ごろよりPTA活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。昨年に引き続き高知県高等学校PTA連合会会長をおおせつかりました佐竹大樹と申します。微力ではありますが、役員一同また皆さんとともに子どもたちの為に精一杯努力してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

さて昨今、子どもたちを取り巻く環境は日々変化し、複雑化しています。その中で、子どもたちの不安はもとより、保護者の方々もその対応に戸惑いを感じながら、子育てをされていると思います。さらに、コロナ禍が追打ちをかけ、皆さんの集まる機会が失われ、交流も容易ではなかったため、一層の心細さの中にあつたことでしょう。

しかし、コロナ感染症の位置づけが緩和され、学校生活や社会の活動など、徐々にではありますが、もとの状態に近づいています。学校に足を運ぶ機会も増え、先生方とのコミュニケーションをとることが多くなると、人に相談したり、意見交換したりすること、つまり、人とつながることの大切さを、今まで以上に感じると思います。



PTAの存在意義は、家庭と学校が担っているそれぞれの役割を果たしつつ、子どもたちにより良い成長の場を、学校や地域とともにつくっていくことにあると思います。親としてより良い教育環境をと願うのは、いつの時代も同じです。しかし、これからのPTAの果たすべき役割の大きさを認識する一方で、時代の流れ（Society5.0の社会へ）とともに、保護者の考え方も多様化しているのも事実です。このことは、歴史が証明するように、日本の高度経済成長時代のテレビ、冷蔵庫、洗濯機の出現を境に、パソコンの出現然り、スマホや携帯の出現然り、ChatGPTの出現など、前例のない対応への期待とも換言できます。

いずれにしても、本連合会としましては、これらのことを踏まえ、時代変化の激しい環境の中で育つ子どもたちが、ふるさとを誇りに思い、この先も充実した日々を過ごすことができるよう、学校・家庭、各教育関係機関と、さらなる連携を図っていくことを目指していきます。そのためにも、保護者の皆様には引き続き、無理のない範囲で、できる範囲で、それぞれの立場で、ご支援・ご協力がいただけるようお願いいたします。

結びに、令和6年7月12日（金）には、県民文化ホールにおいて、中国・四国地区高等学校PTA連合会大会高知大会の開催を予定しています。大会では、2020 東京パラリンピック車いすラグビー銅メダリスト 池 透暢氏による講演、PTA活動発表の研究協議、高校生による発表や出店など予定しています。

この大会を通じて、保護者同士の交流の輪を広げるとともに、子育ての学びの場の一助にいただければ幸いです。沢山の方々の参加をお願いしまして、ご挨拶といたします。



高知県高等学校PTA連合会
会 長 佐 竹 大 樹